

第 1866 回例会《家族クリスマス会》

日時：平成 22 年 12 月 18 日 PM18：30～ 場所：中島亭

1 点 鐘

2 ロータリーソング「奉仕の理想」

3 津田会長挨拶

◇今日は家族クリスマス会です。出席ありがとうございます。平成 22 年最後の例会です。皆さんそれぞれに色々な事があったと思います。来年皆様方にとって良い年であるように祈念いたします。今日は精一杯お楽しみ下さい。

4 出席報告 届出欠席 0 名 / 無届欠席 0 名 / メイクアップ 0 名 / 病欠 0 名 / 出席率 100%

5 幹事報告

◇来年の初例会は 1 月 7 日に変更、七尾鹿島 4 クラブ合同新年会互礼会です。お熊甲神社で初参りをすませて、和倉温泉「あえの風」へ行きます。集合は市民センター午後 4 時 40 分です。

6 委員会報告

◇40 周年実行委員会（勢登 君）…22 日に委員会を開催します。
◇ニコニコ BOX（向 君）…本日の投函者
津田 亨 君…クリスマス会楽しんで下さい。
向 卓 君…家族旅行をしました。

《家族クリスマス会》 大月親睦委員長 開会挨拶

◇昨日は、雷・突風と大変な天気でした、今日は一転良い天気になりました。大勢の皆さんの参加ありがとうございます。12 月の味覚例会とクリスマス会をまとめて行います。家族の参加です。大いに楽しんで下さい。



親睦委員長



乾杯でスタート



家族の皆さん



食べるのに夢中



仲睦まじく

40 周年記念事業実行委員会 第二回委員会開催

★議題 1. 各事業の予算配分 / 2. 各委員会の今後の取り組み / 3. 問題点の洗い出し / 4. その他

★総論 ◇各事業のどこに力点を置くのか / ◇式典・祝賀会・記念講演を小規模に行う / ◇省略出来ることは極力行わない / ◇全て質素にして新たな発想の事業を行う / ◇家族を含めて内輪で式典・祝賀会を行う / ◇来賓候補 ガバナー、ガバナー補佐、親クラブ会長、第三分区ガバナー経験者 / ◇招待クラブ 敦賀 RC / ◇財団寄付 工夫して予算外でする。P. H. フェローか米山功労者を全員がする / ◇会場は小牧台もあえの風も経費はあまり変わらない / ◇記念事業の候補として老人用の反射材や小学校のサポート隊への援助等

★決議事項 1. 各事業の予算配分【式典・祝賀会】～70 万円【記念事業】～70 万円【記念誌】10 万円～
2. 各委員会の今後の取り組み ◇次回までに総論を参考に具体的にその内容を煮詰める / ◇開催の候補日を決める

2010～2011 年度第 2610 地区大会特集

日時：平成 22 年 10 月 30 日（土）・31 日（日）新湊中央文化会館

★大会テーマ「あいの風 のせてひろげよ 奉仕の心」 / 記念講演要旨 中條 高德 氏（1927 年長野県生まれ）「歴史を忘れた民俗は減びる」

◇「昨日、靖国神社付近で倒れ、今日の講演はドクターストップがかかったが、日本の現状を考えるとじっとしてられず、医師・息子の付き添いでやってきました。そばで医師が待機しています。」と熱い口調で語り始めました。日本民族は、自分達の手で近代国家を作ることが出来た。それを可能にしたのは教育である、和の精神である。各藩は、藩校をもちリーダー学・人間学・公共学を 5～6 才から教えた。日本人は優れた民俗である。自分は縦糸の構築と名付けているが、先祖を敬い、歴史を重んずる文化を大切に、横糸は絆、皆で支え合う文化、この縦糸と横糸とを織物を織るように人格が形成されている。ユーラシア大陸から押し寄せた植民地化の波を阻止できたのもこうした力による物である。日本人は恥の文化を大切にしてきた。今は時務学（要領学）に走っている。利益さえあればといった風潮である。日本人はお金を多くつかんだ。そうして悠然と時をすごしている。自分の国は自分で守るといった概念が必要だ。近代経営で一番大事な事はベクトル合わせである。社長から社員の末端までベクトルがあっていないと生き残れない。国家もそうである。ロータリアンの中でも国家を忘れてる人がいる。この国家はどこへ行く民俗滅亡の道を進んでいる。驍を大切に教育が大切だ。歴史を正しく理解し、歩んできた道を思い起こしロータリアンが先頭に立ち、子や孫に伝えていってほしい。

崎山ガバナー挨拶

◇地区大会の目的は、親睦、感銘深い講演と地区内クラブや RI 全般に関する問題の討議によって、ロータリーの綱領を推進する事です。年に一度の貴重な機会です。この大会を通じてお互いの友情の輪を大きく広げましょう。そして RI のテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」をさらに深く確認しましょう。



ガバナー挨拶



参加の皆さん



参加の皆さん 2



【ニコニコBOX】

今月の投函額 14,000 円

累積額 167,000 円